

## 2016年 新年のご挨拶

関西照明器具工業協同組合  
理事長 梅田 照幸

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、昨年度は組合に対しまして格別のお引き立てを賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと前年に引き続き、日本人 2 名がそれぞれノーベル生理学賞・物理学賞の受賞や長崎県の軍艦島・旧グラバー住宅など全国 23 施設の「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産への登録、記憶に新しいところではラグビー日本代表チームがイングランドで開催されたワールドカップで歴史的な勝利をおさめたことなど元気づけられるニュースがたくさんありました。また、日本経済に目を向けますと堅調な経済活動を維持しつつ、雇用や所得環境の改善により、個人消費の持ち直しなど明るい材料もありましたが、明確な景気の牽引役が不在という中で、先行きの不透明感は否めません。

私どもの業界におきましては、LED 照明の市場導入が堅調に進んでおり、カタログ掲載製品のほぼ 100%が LED 製品となっており、数量ベースでの LED 化率も 80%を超えるところまで来ております。今後も 2020 年に開催されますオリンピック関連施設の整備や水銀規制(水銀を使用した製品の製造と輸出入の原則禁止)による LED 照明への取り替え需要など、照明市場の後押しとなる事象も見受けられます。

本年におきましても、組合の皆様とともに力を合せながら、照明業界の発展のため、地球環境に貢献でき、暮らしを豊かにする製品づくりに精励いたす所存でございます。

最後になりましたが、新年が皆様にとって良き年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。